

# みんなが主役「まず参加してみよう」

定年退職などをきっかけに「地域で何かやってみよう」と思ったものの、どの

## 私たちも活躍しています



講師の指導を受けながら、誌面を検討する編集員たち  
=11月1日、ボランティアセンター

ような活動があるのか、自分にあった活動をどうやって探せばいいのか、何から始めたらいいいのかわからない方もいらっしゃるでしょう。気負わず気軽に、とりあえず地域の活動を覗いてみて、興味の湧いたものから「まず参加してみよう」ということから始めてみませんか。

### ボランティア編集員

市役所いきいき高齢課と河内長野市社会福祉協議会は、高齢者が地域で活躍できる様々なフィールドの紹介や、地域における社会参加活動などを広く市民に紹介することを目的にして、平成26年4月、市広報紙で「高齢者活動情報誌ボランティア編集員」を募集しま

### いきいき情報誌「輝く」

年齢を重ねてもいつまでも、いきいきと輝き、活躍する方や団体が、河内長野には沢山います。この情報誌では、その

ような人や様々な社会参加活動を紹介します。高齢の方が「何か始めよう」と一歩踏み出す」「更にステップアップする」きっかけになるよう、作成していききたいと思っています。

す。

今後も輝いている人だけでなく、活動や活躍出来る場の紹介もしていきたいと思えますので、地域の皆さんの情報をお待ちしています。

プロジェクターを使いながら説明する清水写真報道局長



した。

公募で集まって下さった方々は、社会福祉協議会ボランティアセンターを活動の拠点として、毎月1回から2回、土曜日の午前中を活動日として集まっています。活動の動機も年齢もさまざまですが、まずはこの情報誌を発刊することを目標に講習会や研修会などを開き、編集員の絆を深めながら、この創刊号を作り上

げました。

これまでの取り組みは、元産経新聞編集長や写真報道局長ら4人の講師をお招きし、情報誌作成のための基礎知識として、インタビューの仕方や記事の書き方、レイアウトや見出しの付け方などを学びました。

今後は、パソコン作業などについても学び、更にステップアップした情報誌を作成していきたいと思っています。

この情報誌はまだ第1号であり、スタートをきったところですが、今後どのような記事を掲載するかなども編集員で考えていきます。また、情報誌作成に向けて学ぶことはまだまだ多く、新たな知識や技術を身につけることもでき、新たな仲間も増え、地域の新しい発見も見つかるという魅力もあります。

これからも「活動情報誌ボランティア編集員」を広く募集していきますので、興味のある方、仲間になりませんか。